



2015年5月改訂(第5版、
添付文書情報の記載に伴う改訂)
2009年12月改訂
貯法：気密容器
製造番号 箱側面に記載
使用期限

日本標準商品分類番号
873211

承認番号 22100AMX00481
薬価収載 2009年11月
販売開始 1953年12月
再評価結果 1986年12月

カルシウム剤

日本薬局方

乳酸カルシウム水和物

Calcium Lactate Hydrate

乳酸カルシウム水和物「シオエ」原末
500g

製造販売元 シオエ製薬株式会社
兵庫県尼崎市潮江3丁目1番11号
販売 日本新薬株式会社
京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- 1) 高カルシウム血症の患者〔尿管や糸球体の機能障害、腎・尿路結石症を悪化させるおそれがある。〕
- 2) 腎結石のある患者〔腎結石症を悪化させることがある。また腎の石灰化や尿路結石を誘発するおそれがある。〕
- 3) 重篤な腎不全のある患者〔排泄、再吸収等の腎機能が極度に低下し、カルシウムだけでなく体液全般の恒常性の維持が困難な場合が考えられる。〕

【組成・性状】

成分・含量 (1g中)	日本薬局方乳酸カルシウム水和物 (乳酸カルシウム) 1g
性状	白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。

【効能・効果】

低カルシウム血症に起因する下記症候の改善
テタニー
下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
妊婦・産婦の骨軟化症
発育期におけるカルシウム補給

【用法・用量】

乳酸カルシウム水和物として、通常成人1回1gを1日2~5回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- (1) 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)
 - 1) 活性型ビタミンD製剤を服用している患者〔高カルシウム血症があらわれやすい。〕
 - 2) 強心配糖体の投与を受けている患者〔強心配糖体の作用を増強するおそれがある。〕
 - 3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者 (病態例：悪性腫瘍、甲状腺機能亢進症など)

(右面へ続く)

日本薬局方

乳酸カルシウム水和物

(\左面より続く)

(2) 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

(3) 相互作用

併用注意 (併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系 抗生物質 ・テラサイクリン ・ミノサイクリン 等	これらの薬剤の吸収が低下し、効果が減弱するおそれがあるため、同時に服用させないなど注意すること。	カルシウムと難溶性のキレートを形成し、薬剤の吸収が阻害される。

(4) 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
●その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
長期投与	高カルシウム血症、結石症
その他	便秘

(5) 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

製造番号
使用期限



〈調剤コード〉



〈販売コード〉

